

# 地質柱状図

ボーリングNo. /

調査件名 大蔵村立大蔵小学校改築工事に伴う地質調査  
 調査地点 最上郡大蔵村清水  
 調査期間 昭和60年7月27日～7月28日

標高 BM-D.08 m  
 口径 66 mm  
 自然水位 \_\_\_\_\_ m  
 孔内水位 GL-4.10 m

標 尺 m	深 度 m	層 厚 m	柱 状 図	地 質 名	色 調	観 察	相 対 稠 度	相 対 密 度	標準貫入試験										試料採取深度 m		
									深度 m	N 値 回 cm	10cm毎の 打撃回数			N 値							
											10 cm	20 cm	30 cm	採取率( ) %							
										0	10	20	30	40	50						
										0	20	(40)	(60)	(80)	(100)						
1	0.50	0.50	○ ○	表土	黒灰色	礫混じり土 比較的粘着性豊富 。石中、小礫(φ=10~20%)	中		1.15	6/30	2	2	2								
2	2.00	1.50	○ ○	礫混じり土	黒灰色	を含ま			1.45	6/30	2	2	2								
	2.50	0.50	○ ○	細砂	茶灰色	粗砂均一			2.15	6/30	2	2	2								
3			○ ○		茶灰色	粒子は中～粗粒砂 あり不均一。			2.45	12/30	3	5	4								
4			○ ○		茶灰色	石中には石英・河泥物を 多く混入している。			3.15	12/30	3	5	4								
5			○ ○		茶灰色	混入する礫はφ=10~20% の円礫を主体とし、深度 は不明に多く含む。			3.45	14/30	4	5	5								
6			○ ○		茶灰色				4.15	14/30	4	5	5								
7			○ ○		茶灰色				4.45	24/30	6	8	10								
8	8.00	3.80	○ ○	礫混じり砂	青灰色				5.15	24/30	6	8	10								
9			○ ○		青灰色	比較的粘着性豊富 。深度が6m付近まで 多量混入している。			5.45	43/30	11	14	18								
10			○ ○		青灰色				6.15	43/30	11	14	18								
11			○ ○		青灰色				6.45	48/30	11	17	20								
12			○ ○		青灰色				7.15	48/30	11	17	20								
13	12.50	4.20	○ ○	粘土質砂	青灰色				7.45	15/30	8	4	3								
14			○ ○		青灰色	比較的粘着性豊富 。深度が6m付近まで 多量混入している。			8.15	15/30	8	4	3								
15			○ ○		青灰色				8.45	7/30	2	2	3								
16	14.00	1.50	○ ○	砂混じり砂	青灰色	粒子均一。若干の毛片 を含む。			9.15	7/30	2	2	3								
17			○ ○		青灰色				9.45	5/30											
18			○ ○		青灰色	礫径φ=10~30% 最大で φ=60%程の円～重円礫 主体。			10.15	5/30											
19			○ ○		青灰色	粒子は中～粗粒の砂 で、石英を含む。			10.45	5/30											
20			○ ○		青灰色	所により礫(φ=5%程度) も混入する。			11.15	5/30											
21			○ ○		青灰色	深度18.3~18.5m間 垂直炭を介在。			11.45	8/30	2	3	3								
22	20.00	4.70	○ ○	砂	青灰色				12.15	8/30	2	3	3								
23			○ ○		青灰色				12.45	11/30	3	4	4								
24			○ ○		青灰色				13.15	11/30	3	4	4								
25			○ ○		青灰色				13.45	50/11	4	9									
26			○ ○		青灰色				14.15	50/13	3	5	15								
27			○ ○		青灰色				14.26	50/13	3										
28			○ ○		青灰色				15.15	50/10											
29			○ ○		青灰色				15.28	50/10											
30			○ ○		青灰色				16.00	50/6											
31			○ ○		青灰色				16.10	50/0											
32			○ ○		青灰色				17.00	50/0											
33			○ ○		青灰色				17.06	50/0											
34			○ ○		青灰色				18.00	50/0											
35			○ ○		青灰色				19.00	50/0											
36			○ ○		青灰色				20.00	50/0											

備考

(註) 1. 標準貫入試験の項で10cm毎の打撃回数とは最初の10cm貫入に要した打撃回数、10cm～20cmの間で要した打撃回数、20cm～30cmの間で要した打撃回数をそれぞれしめたものである。

(註) 2. 試料採取方法の記号(記号の右の数字は試料番号)

- 1 乱さない試料
- 2 貫入試験機による試料
- ◎—3 コア試料

株式会社 新和調査設計事務所

# 地質柱状図

ボーリングNo. 2

調査件名 大蔵村大蔵小学校改築工事に伴う地質調査  
 調査地点 最上郡大蔵村清水  
 調査期間 昭和60年 7月25日～ 7月26日

標高 BM-0.20 m 口径 66 mm  
 自然水位 m  
 孔内水位 GL-4.00 m

標高 m	深度 m	層厚 m	柱状 図	地質 名	色調	観察	相対稠度	相対密度	標準貫入試験										試料採取深度 m				
									深度 m	N値 回/cm	10cm毎の 打撃回数			N値									
											10 cm	20 cm	30 cm	コア採取率( ) %									
											0 10 20 30 40 50 0 20 (40) (60) (80) (100)												
1	1.00	1.00	表土	黒褐色		・砂質シルト。若干の礫を含む。			1.15	8/30													
2						・粒子均一。若干の毛髪を含む。			1.45		2	2	4										
3	2.80	1.80	細砂	茶褐色					2.15	11/30	3	9	4										
4						・粒子は中～粗粒砂が主体で所々に細粒砂を含む。			2.45														
5						・石灰質を含む。			3.15	16/30	5	5	6										
6						・混入する礫の径は10～20%程度の円礫であり、深度7m以深にのみ混入している。			3.45	18/30	5	6	7										
7									4.15														
8									4.45														
9									5.15	27/30	7	9	11										
10									5.45														
11	10.20	7.40	硬砂	灰褐色					6.15	27/30	7	9	11										
12						・粘着性に富む。下部に水分混入している。			6.45	17/30	4	4	9										
13									7.15														
14									7.45	41/30	12	14	15										
15									8.15														
16									8.45	44/30	12	14	18										
17									9.15														
18									9.45	9/30	3	3	3										
19									10.15														
20									10.45	6/30	2	2	2										
21									11.15														
22									11.45	10/30	3	3	4										
23									12.15														
24									12.45	33/30	5	6	12										
25									13.15	50/30	15	15	20										
26									13.45														
27									14.15	50/30													
28									14.45														
29									15.00	50/0													
30									16.15	50/13	27	13											
31									16.28	50/5													
32									17.00	50/0													
33									17.05														
34									18.00	50/0													
35									19.00	50/0													
36									20.00	50/0													

備考

(註) 1. 標準貫入試験の項で10cm毎の打撃回数とは最初の10cm貫入に要した打撃回数、10cm～20cmの間で要した打撃回数、20cm～30cmの間で要した打撃回数をそれぞれしめたものである。

(註) 2. 試料採取方法の記号(記号の右の数字は試料番号)

- 1 乱さない試料
- 2 貫入試験機による試料
- ◎-3 コア試料

株式会社 新和調査設計事務所

# 地質柱状図

ボーリングNo. 3

調査件名 大蔵村立大蔵小学校改築工事に伴う地質調査  
 調査地点 最上郡大蔵村清水  
 調査期間 昭和60年7月29日～7月30日

標高 841.015 m 口径 66 mm  
 自然水位 \_\_\_\_\_ m  
 孔内水位 841.450 m

標尺 m	深 度 m	層 厚 m	柱 状 図	地 質 名	色 調	観 察	相 対 稠 度	相 対 密 度	標準貫入試験										試料採取深度 m			
									深 度 m	N 値 回/cm	10cm毎の 打撃回数			N 値								
											10 cm	20 cm	30 cm	コー採取率( ) %								
				0	10	20	30	40	50													
				0	20	(40)	(60)	(80)	(100)													
1	0.50	0.50		表土	茶灰色	礫混り粗砂 ・粒子均一 所々小石を 含む。 ・深径1.0m以下小礫 混入している。			1.15	14/30	4	5	5									
2									1.45	13/30	4	4	5									
3									2.15	14/30	4	5	5									
4									2.45	17/30	5	6	6									
5	4.50	4.00		細砂	茶灰色	・粒子は中～粗粒砂が主 体であり、所々細砂も 混入。 ・混入する礫は中～10cm の円～型円礫主体であ る。			3.45	13/30	4	5	4									
6									4.15	23/30	7	8	8									
7									4.45	30/30	8	10	12									
8									5.15	36/30	10	12	14									
9									5.45	48/30	15	15	18									
10									6.15	22/30	10	8	4									
11	0.40	5.90		細砂	茶灰色	・粘着性なし ・若干の小礫(中～10cm)混入			6.45	10/30	3	3	4									
12	11.60	1.20		粘土	青灰色	・粒子比較均一 ・小石混入なし			7.15	15/30	4	6	5									
13	12.80	1.20		細砂	茶灰色	・礫径平均中～30mm散 り100mm程の円～型円礫 主体			7.45	50/28	26	14	10									
14									8.15	50/18	30	20	8									
15									8.45	50/17	25	25	7									
16									9.15	50/17	35	15	7									
17						・粒子は中～粗粒砂であ り、石英を含む。 ・若干の小礫を(中～5mm) 混入している。			9.45	50/16	35	15	6									
18									10.15	50/12	42	8	2									
19	18.90	2.70		砂	青灰色	・粒子は中～粗粒砂であ り、石英を含む。			11.15	50/10	50											
20	19.30	0.40		砂	黒色				11.45	50/10	50											
20	20.25	0.95		砂	青灰色				12.15	50/10	50											
									12.45	50/10	50											
									13.15	50/10	50											
									13.43	50/10	50											
									14.15	50/10	50											
									14.33	50/10	50											
									15.15	50/10	50											
									15.32	50/10	50											
									16.15	50/10	50											
									16.32	50/10	50											
									17.15	50/10	50											
									17.31	50/10	50											
									18.15	50/10	50											
									18.27	50/10	50											
									19.00	50/10	50											
									20.10	50/10	50											
									20.25	50/10	50											

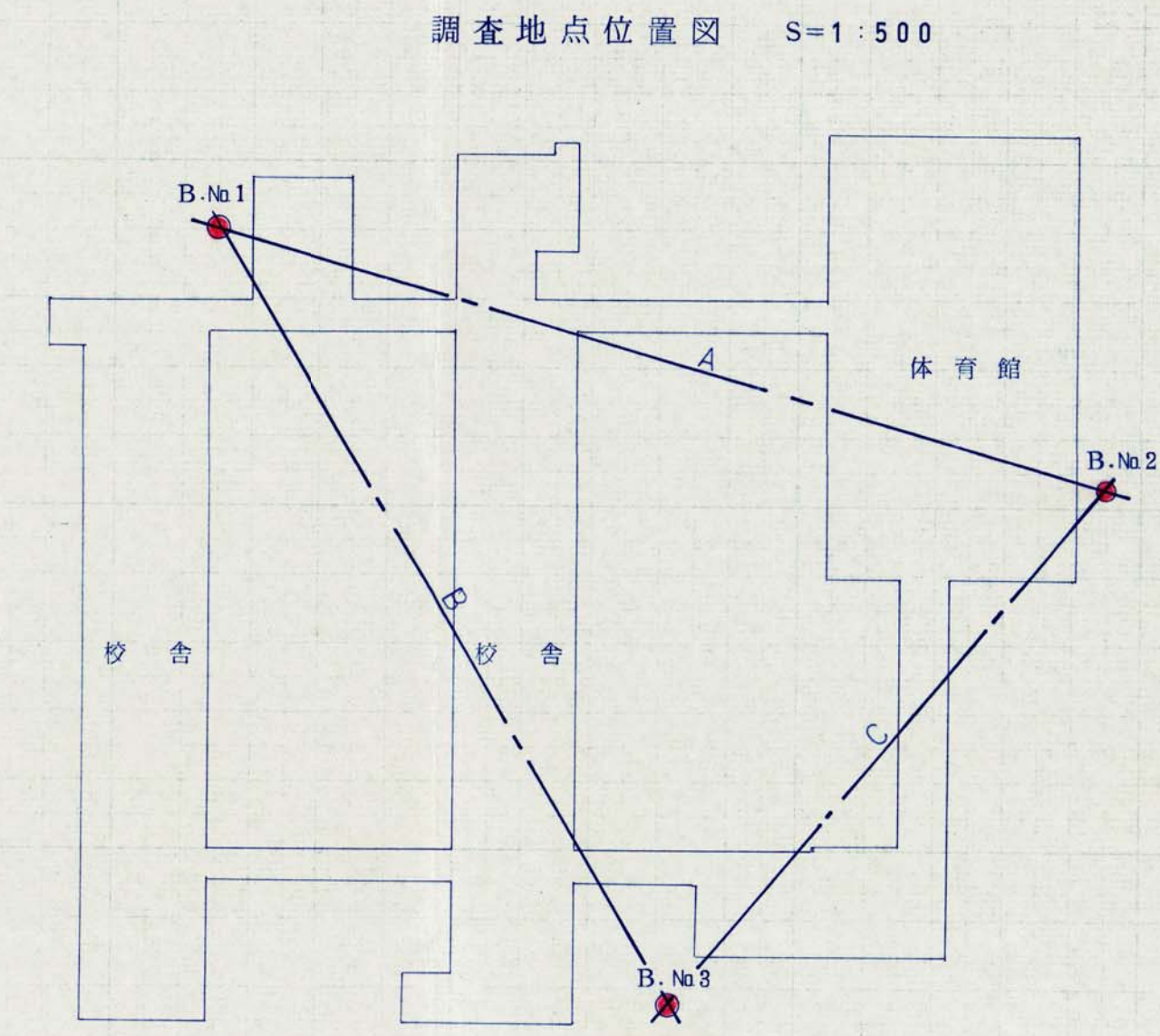
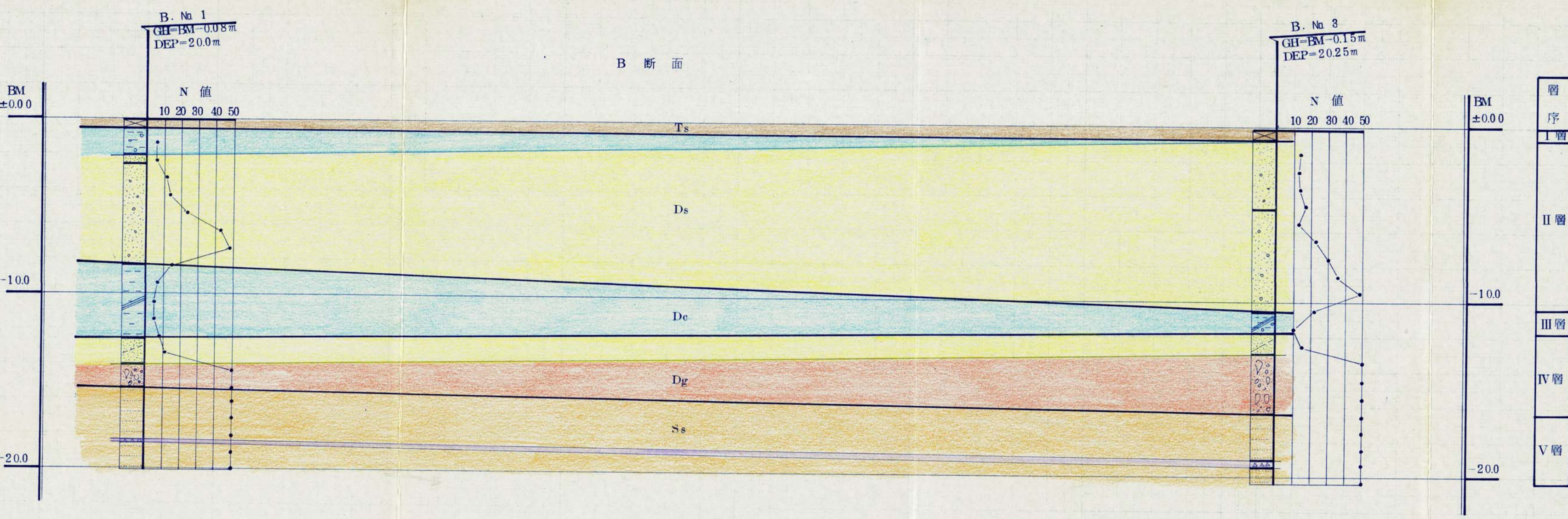
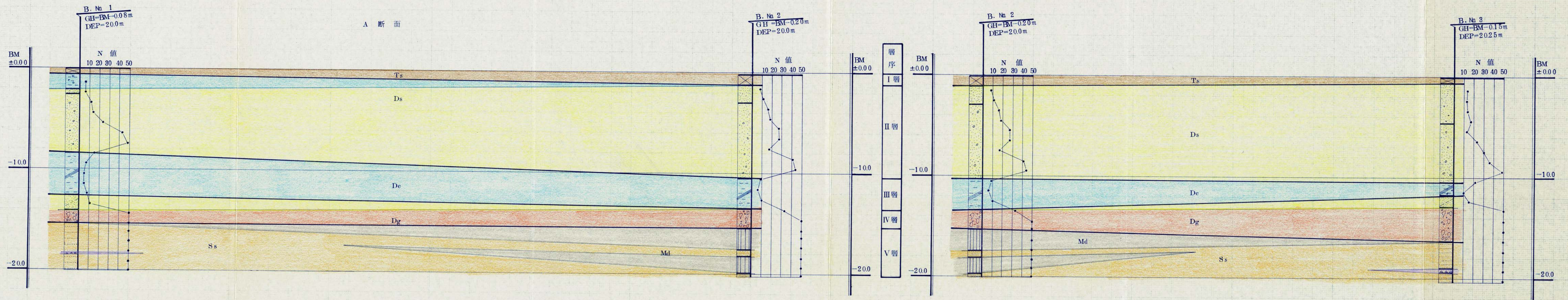
備考

(註) 1. 標準貫入試験の項で10cm毎の打撃回数とは最初の10cm貫入に要した打撃回数、10cm～20cmの間で要した打撃回数、20cm～30cmの間で要した打撃回数をそれぞれしめたものである。

(註) 2. 試料採取方法の記号(記号の右の数字は試料番号)

- 1 乱さない試料
- 2 貫入試験機による試料
- ◎—3 コア—試料





地質凡例

	表土 (Ts)
	シルト (De)
	砂 (Ds)
	砂礫 (Dg)
	礫混り
	シルト混り
	砂岩 (Ss)
	泥岩 (Md)
	亜炭
GH	標高
DEP	掘削深度

昭和 60 年度	図番	葉
路線名又は河川名		
工事名	大蔵村立大蔵小学校改築工事	
位置	最上郡大蔵村清水	
地質想定断面図		
縮尺 S=1:200	審査	設計
製図 昭和 年 月 日		